

# 田中まどかの市議会通信 vol.30

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会） 2023.10.15 発行



## 4年度決算審査で見た課題 / 地域公共交通協議会条例可決

▶今年も決算特別委員として令和4年度決算を審査しました。▶3年度に続き国から多額の新型コロナ対策と新たに物価高騰対策の交付金があり、低所得世帯や市内の施設・事業者への支援が行われました。▶一方、市税収入は順調で、とくに滞納が著しく改善されています。職員の努力を評価しますが、過度な差し押さえはないか、今後注視していきたい部分です。▶資材高騰や人件費の上昇により、工事の遅延や工事費の変更が相次ぎました。入札不調も増えています。しかし、安易に随意契約としないようチェックしていかなければと思います。▶一般会計については賛成し、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の特別会計については、加入者の負担が大きいため反対しました。国がもっと財政責任を果たすべきです。▶一般会計、特別会計の不用額(予定していたが使わなかったお金)が20億以上あります。予算段階での見積りの精度を上げる必要があると感じました。▶予算審査のあり方を改善したいという思いは今年も募りました。議員間で討議し、委員会として次期予算について市に提言できるくらいまでになりたいものです。

▶「地域公共交通協議会条例」が可決され、鉄道、バスなどの事業者や地域住民、関係行政機関などの利害関係者を含む多様な人たちを集めた協議会が来年1月に設置されます。日高市公共交通計画を策定・実施に向け、ようやく本格的な取り組みが始まります。



### 田中まどかの一般質問

田中まどかの  
一般質問の動画は  
こちらから →



#### 市のナラ枯れ対策は？

山林、平地林、公園などで「ナラ枯れ」が目立ちます。ナラ枯れは、カシナガキクイムシという体調5mmくらいの甲虫がナラやシイなどの幹に入り込み、ナラ菌というカビの一種を植え付けることで起こり、全国的な問題になっています。

県内では2019年に初めて確認され、2021年には24市8町にまで広がりました。

Q. これまでの市内の被害と対策は。

A. 公有林、民有林で約80本の被害を把握しているが、被害は市内全域に及んでいる。これまでに16本を伐採し、今年度は15本の伐採を予定している。

Q. 対策の方針は。

カシナガキクイムシ

A. 人命や市民生活に影響する所から優先順位をつけて伐採していく。薬剤は使わない。人が立ち入らない山林については自然循環に任せる。

山林所有者への通知、市民への被害情報の提供を行うなど周知に努める。今後、森林環境譲与税を活用した補助制度も検討する。

★この問題は、木の利用、山の若返り、山の土壌や保水力など、長いスパンで考え、根本的にナラ枯れが生じない環境にしていく必要があると考えます★



#### 障がい者スポーツの普及推進を！

スポーツ基本法では、スポーツを通じた幸福で豊かな生活はすべての人の権利であるとし、障害者が自主的かつ積極的にスポーツが行えるよう、必要な配慮をしつつ推進されなければならないとしています。

しかし、障がい者の週1回以上のスポーツ実施率は成人で31%しかなく、過去1年間に1回もスポーツをしていない人は41%もいるといいます。

Q. 本市の障がい者スポーツの取り組み状況は。

A. 年1回の「福祉スポーツ大会」の開催、県主催の「彩の国ふれあいピック」への参加支援をしているほか、体験教室などを実施している。

Q. かわせみマラソンなど既存のスポーツイベントにも障がい者が参加しやすくするべきではないか。

A. 障がいの程度や種類によって対応が様々で、障がい者の部を設けるなどは難しい。

Q. 障がいがあっても競技性のある種目に参加したい人もいます。どうしたらできるかを考えるべきでは。

A. まずは福祉スポーツ大会の充実やボランティアスタッフの拡充を進める。

★「健幸のまち宣言」をした日高市。障がい者もスポーツやイベントを楽しみながら健康増進できるしくみと工夫が必要です。その環境づくりは市の責務です★



# ひだか 子どもみらい通信 vol.25

☆知って、考えたい子どもの未来☆

## 高根保育所廃止？令和9年度に高麗川保育所と統合？

2022年の日本の出生数は約77万人。予想より11年も早く80万人を割り込みました。保育の対象年齢である0～5歳の人口は、この8年間で63万人も減少しており、日高市の未就学児人口も1656人と推計を100名ほど下回っています。全国の保育所を利用する子どもの数は、女性の就業率の増加を見込んでも2025年にピークを迎え、その後は減少します。これは「保育問題における2025年問題」と呼ばれ、人口減少が進む地域では、今後70%を超える保育所で統合が行われると言われていています。

そしてまさに日高市でも、7月の児童福祉審議会で高根保育所と高麗川保育所を統合する方針が示されました。審議会資料と一般質問からわかった市の考えは・・・

- 来年度から高根保育所の募集を段階的に抑制し、  
**統合は令和9年度**。高麗川保育所に0歳児保育を設ける。
- 維持管理に要していた費用を統合により集中させ、多様な保育ニーズへの対応と質の高い保育の提供をしたい。
- 障がい児等特別な配慮を要する児童の受け入れを拡充する。**

| 保育の状況   | 定員   | 児童数  | 入所率   |
|---------|------|------|-------|
| 公営 3か所  | 310人 | 167人 | 53.9% |
| 民営 10か所 | 683人 | 682人 | 99.9% |

- 一時保育、病児保育等のニーズを把握する。医療ケア児保育への協力を医療機関に働きかける。
- すべての子育てで家庭を対象とした地域の子育て支援施設としての機能を強化する。
- 民間との情報共有による保育技術の向上と保育の質の確保を図る。
- 高麗川保育所が基幹的な役割を担える体制にして市内保育をリードする。

★廃止・統合せずに定員を見直して手厚い保育にしてほしいとも思いますが、老朽化の問題（高根保育所は築46年）もあります。児童福祉法では、保育の実施責任は市町村にありますから、市は子どもたち、子育て家庭のことを第一に考え、安全で質の高い保育を提供できるよう力を尽くしてほしいと思います★



\*\*\*\*\*

## 健康保険証の継続を求める意見書案は否決されました

政府は、来年秋にマイナンバーカードと健康保険証を一体化し、現行の健康保険証を廃止しようとしています。そうなれば、カード取得や紐づけが困難な障がい者や高齢者、利用者の保険証を管理してきた障がい者施設や介護施設は大変困ることになります。マイナ保険証をめぐるトラブルもいまだ全貌が明らかになっておらず、政府の対応も二転三転し混乱しています。いったん立ち止まって制度を見直すべきです。

私は、今議会に「**改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の継続を求める意見書**」案を提出しましたが、賛成者は共産党と私のみで否決されました(反対10、退席3)。

本会議では、「市議会議員は国の事務事業を評価する立場にない」とか、「この意見書案に時間をとられて迷惑」という趣旨の発言や、「この意見書を出すことで与野党合意ができるのか」といった、地方議会から国に意見書を出すことの意義を理解していない発言が相次ぎ、愕然としました。

そして、さんざん質疑しておきながら採決では退席するという理解しがたい態度に疑問を禁じえません。

連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2 TEL 090-9003-7344  
 ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/> FAX はありません  
 フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>  
 メールアドレス：madoromi29@hanno.jp  
 お気軽にご連絡、ご意見、ご相談ください。

ブログ フェイスブック